

報告

平成27年度 東京都と東京都生活協同組合連合会との協働事業 地域4会場での開催に向けたキックオフ集会

開催日時：2015年7月27日(月)

13:30~15:30

開催場所：東京都生協連北新宿事務所7F

参加実績：合計 34人

生協関係15名 消費者団体3名 行政6人

連絡会メンバー等6人 東京都生協連 4名

主催：東京都生協連消費者行政連絡会



東京都生協連 専務理事
竹内 誠

開会挨拶

地域会場で協働事業をすすめるようになって3年目となります。東京都と、東京の全世帯の内の半分にあたる290万人が組合員となっている生協と、消費者団体や行政が協力して消費者被害を減らすために協働事業をすすめることで、高齢者の消費者被害が少しでも減らせるよう今年度もどうぞよろしくお祈りします。

◆プログラム◆

13:30~13:35 開会挨拶 東京都生協連専務理事 竹内 誠

13:35~13:45 東京都と東京都生協連の協働事業について

13:45~14:15 2014年度の取り組み報告

大田区消費者団体連絡協議会 小笠原 春美さん
町田市消費生活センター担当係長 腰本 学さん

14:15~14:30 2015年度の取り組みの進め方について

14:30~15:15 グループワーク

15:15~15:25 グループ発表

15:25~15:30 事務局連絡 閉会

東京都と東京都生協連の協働事業について

今年で6年目をむかえる協働事業の取組みは、消費者庁が設立された平成21年から東京都と東京都生協連とで協定を結び、地方消費者行政活性化基金を活用してすすめてきました。事業の中身は年度ごとにさまざま、6つの地域生協の広報誌や商品案内チラシの裏面を使った消費者問題関連の情報提供や啓発、シンポジウムや講演会の開催、若者向けにリスク回避ハンドブックやブックカバーなどの啓発グッズの作成、また、現在も東京都生協連のホームページで継続しているeラーニングの作成などを行ってきました。一向に減ることのない消費者被害の拡大防止や消費者教育の啓発をすすめるために、地域や大学と共に各会場で講演会等を行うようになったのは一昨年からです。東京都のアクションプランに沿った内容で地域3か所、大学2か所で高齢者や若者を対象とした消費者被害防止の講演会等を開催しました。今年は高齢者の消費者被害防止に絞って地域4会場で取り組みを進めます。行政、生協、消費者団体などで連携の輪を広げて取り組みましょう。



東京都生協連
池田 智子

2015年度の取り組みの進め方について

東京都生協連の事務局より、それぞれの地域ごとに実行委員会を立ち上げてすすめることや、会の主催はそれぞれの実行委員会となること、開催地域の行政区を後援または共催とすることなどを基本として取り組みをすすめていくことを確認しました。



東京都生協連 遠山 孝治

共通の名称

平成27年度 東京都と東京都生活協同組合連合会との協働事業

地域テーマ・内容

高齢者の消費者被害防止をテーマとした講演会等の実施

目的

- ・高齢者の消費者被害防止につながる取り組みをすすめます。
- ・消費者団体相互、消費者団体と消費者行政との連携を深めます。
- ・地域の現状を知るとともに、地域にある消費者センターの存在やその役割について理解を深めます。

開催地域

●墨田区 ●府中市 ●清瀬市 ●東久留米市

実施期間

平成27年10月~平成28年3月初旬頃まで

参加対象

- ・高齢者、高齢者が身近にいる人、地域住民として消費者被害をなくしたいと考えて行動したいと考えている人
- ・生協組合員・消費者団体関係者並びに都民



2014年度の取り組み報告 in 大田区



大田区消費者団体連絡協議会
小笠原 春美さん

昨年のin 大田区の取り組み概要と経緯、すすめるにあたって大切にしていたこと、実行委員会で頑張ったこと、今年度取り組みをすすめる地域へのアドバイスなどをお話頂きました。

同じ東京でも住んでいる所によって地域性や意識など違いがあります。大田区の地域性を受け止めつつ、楽しさやお得感を感じられる会になるよう実行委員会で内容を考えあいました。チラシも高齢者の方が見やすいように大きな字や、内容をわかりやすく伝える工夫をし、当日参加も受け付けるようにしました。2週間前までは申し込みが少なくハラハラしましたが、当日は雨にも関わらず108名の方に参加して頂き、楽しく学びあいました。

2014年度の取り組み報告 in 町田市



町田市消費生活センター
担当係長 腰本 学さん

in 町田市の実行委員会に行政の立場で参加して、実施前の企画段階から関わってきた経緯や取り組みの概要、工夫した点や、事業を終えて感じた事などお話を頂きました。

年度途中の声かけということもあり、最初はお断りしようかとも考えた協働事業でしたが、終わってみれば本当にいい会となりやっていた！と思っています。楽しく準備し、やりがいがありました。内容も町田市の歌の企画だと人が集まるという地域性をいかして歌声ひろばを企画のひとつに加え、寸劇、クイズと楽しい会になるようにし、チラシもオリジナルを作って参加を呼びかけました。当日は達成感と感動で胸がいっぱいになった協働事業でした。

地域ごとのグループワーク

都合がつかず参加できなかった墨田区以外の府中市・清瀬市・東久留米市で3つのグループに分かれて、どんな内容にしたいかや実際の開催形式、自分の住む地域での開催場所候補などを出し合い、イメージを共有しました。

●府中市 タイトルも内容も楽しさが伝わるものにしたい。

〈こんな内容でやってみたい〉

・学べる内容 ・参加型の内容

マジック ・参加型で〇×クイズ ・立川平林さんの落語 ・歌

〈参加希望月〉

・2月中旬～下旬 平日・午後希望



●清瀬市 市民全体に関心を持ってもらえる工夫をして、男性の参加も増える企画にしたい。

〈こんな内容でやってみたい〉

地域で活動する団体や見守りに関わる人などを巻き込んで行いたい

・紙芝居 ・寸劇 ・クイズ

〈参加希望月〉

・1～2月希望



●東久留米市 楽しくてお得感のあるものにしたい。

〈こんな内容でやってみたい〉

ネームバリューのある人を呼ぶなど、興味を引く企画

・講演会 ・落語 ・マジック ・相談員さんによるためになるお話

〈参加希望月〉

・2月中旬～下旬 平日希望

参加者の感想より

- ・今年度の取り組みについてグループワークを通じて具体的に知ることが出来ました。
- ・昨年開催されたお話をさらにグループでもお聞き出来たので大変さ、楽しさを知ることができました。
- ・地域性をとらえた取り組みが参考になりました。
- ・昨年の取り組み報告が大変参考になり、後半のグループワークが話しやすかったです。
- ・イベントの流れがよくわかりました。昨年や前の事例を載せて頂いていたのでとてもわかりやすかったです。
- ・楽しく準備し、やりがいがあったというお話が良かったです。
- ・東京都生協連の関わり方がいまひとつ理解できなかった。実行委員会の位置づけの重要性が見えにくい。